

# 大学院博士後期課程進学外国語試験について

大学院博士後期課程進学外国語試験は、年2回各学院のコースで次のいずれかの方法を選択して実施されます。

- (1) 外国語試験を、改めて行わない。
- (2) 選考試験の中に外国語を含めて行うこととし、進学外国語試験としては行わない。（その詳細については、進学後の志望コースのコース主任に問い合わせること。）
- (3) 進学外国語試験を行う。（試験の詳細及び結果についての問い合わせは、進学後の志望コースのコース主任に行うこと。）
- (4) TOEFL（コンピュータTOEFL・インターネットTOEFLを含む）またはTOEICのスコア提出に代え、筆答試験を行わない。
- (5) TOEFL（コンピュータTOEFL・インターネットTOEFLを含む）、TOEICまたはIELTSのスコア提出に代え、筆答試験を行わない。
- (6) TOEFL（コンピュータTOEFL・インターネットTOEFLを含む）、TOEICまたはIELTSのスコア提出に代え、筆答試験を行わない。TOEFL-ITP, TOEIC-IP等のコンピュータ・インターネットを利用した試験および団体特別受験制度によるスコアを利用できる。

※(4), (5), (6)のTOEFL, TOEIC, IELTSのスコアシート（成績証明書）の有効期限は、当該試験願書提出期限から2年以内とする。

※(1)～(5)では、TOEFL-ITP, TOEIC-IP等の団体特別受験制度によるスコアは利用できません。

※(6)ではTOEFL-ITP, TOEIC-IP等の団体特別受験制度によるスコアを利用できます。ダウンロードしてカラー印刷したスコアあるいは送付されたスコアを提出して下さい。

詳細についてはコース主任に問い合わせして下さい。

博士後期課程進学志望者は、次ページの表を参照して、各コースが指定する方法に従って下さい。

学院	コース名	4月 進学	9月 進学
理学院	数学コース	(2)	(2)
	物理学コース	(2)	(2)
	化学コース	(1)	(1)
	地球惑星科学コース	(1)	(1)
工学院	機械コース	(1)	(1)
	システム制御コース	(1)	(1)
	電気電子コース	(1)	(1)
	情報通信コース	(1)	(1)
物質理工学院	経営工学コース	(1)	(1)
	材料コース	(1)	(1)
情報理工学院	応用化学コース	(1)	(1)
	数理・計算科学コース	(1)	(1)
生命理工学院	情報工学コース	(1)	(1)
	知能情報コース(複合系コース)	(1)	(1)
環境・社会理工学院	生命理工学コース	(1)	(1)
	建築学コース	(1)	(1)
	土木工学コース	(1)	(1)
	地球環境共創コース	(1)	(1)
	社会・人間科学コース	(6)	(6)
	イノベーション科学コース	(1)	(1)
複合系コース (複数の学院にまたがるもの)	都市・環境学コース(複合系コース)	(1)	(1)
	エネルギー・情報コース	(1)	(1)
	エンジニアリングデザインコース	(1)	(1)
	人間医療科学技術コース	(1)	(1)
	原子核工学コース	(1)	(1)
	物質・情報卓越コース	(1)	(1)

試験方法：(1)外国語試験を改めて行わない。(2)選考試験に外国語試験を含めて行う。(3)進学外国語試験を行う。

(4)TOEFLまたはTOEICのスコアを提出する。(5)TOFEL,TOEICまたはIELTSのスコアを提出する。(6) TOEFL, TOEICまたはIELTSのスコアを提出する。なおTOEFL-ITP, TOEIC-IP等の団体特別受験制度によるスコアも利用可能。

※複合系コースについては、系を問わず全て同一です。